中国地区道路利用者会議会長

檜山俊宏

広島県議会議員

令和4年の年頭にあたり、当会を代表して一言ご挨拶を申し上げます。

当会議の運営及び諸活動につきましては、日ごろから格別のご支援・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

近年、豪雨災害が頻発・激甚化しており、昨年も7月・8月の豪雨災害により、多くの尊い人命が犠牲となられました。不幸にもお亡くなりになられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災されました方々の一日も早い復旧・復興をご祈念申し上げます。

中国地方においても、平成30年7月の豪雨災害では、高速道路をはじめ国道・地方道が多くの箇所で寸断されましたが、道路ネットワークの復旧後は、救助活動、緊急物資の輸送路としての役割を果たし、その重要性を再認識したところでございます。

道路は、国民生活の向上、経済社会の発展に不可欠な、最も基礎的な社会基盤であります。中国地方において、その整備は未だ不十分であり、ポストコロナ時代の「新たな日常」を実現するとともに、今後活力ある地域経済に支えられた社会の実現に向けた「地方創生」の取組を進めていくため、高規格道路ネットワークから生活道に至るまで、生産性向上を導く社会資本のストック効果を重視した真に必要とされる道路の整備を緊急かつ計画的に進めていく必要があります。

このため、高規格道路ネットワークの早期整備や多車線化などの機能強化に加え、平常時・災害時を問わず安定的な輸送を確保するためには、重要物流道路の更なる指定及び整備促進、ピンポイント渋滞対策や港湾・空港のアクセス道路の改善による輸送の効率化等を図り、加えて、スマートICの整備による利便性の向上など、利用者の視点に立った高規格道路ネットワークの有効利用を積極的に推進する必要があります。

引き続き、当会議といたしましては、活力に溢れ、安心できる社会を次の世代に引き継ぐため、遅れている地方の道路整備等の実情を踏まえ、道路利用者の立場から、真に必要な道路整備の着実な実施に向け、道路関係予算の確保・拡充に全力で取り組んで参りますので、皆様には一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとりまして幸せで実り多く、大いなる飛躍の年となりますことを心より祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

四国地区道路利用者会議会長

花崎光弘

香川県議会議員

令和4年の年頭にあたり、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

会員の皆様におかれては、当会議の運営及び諸活動につきまして、日頃から深いご理解と格別のご支援、ご協力を賜り、心より感謝を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が依然として猛威を振るい、地域経済や国民生活に多大な影響を及ぼしました。また、四国地方は、急峻な地形や脆弱な地質のため、降雨等による自然災害に見舞われやすく、加えて、近い将来において発生が危惧される「南海トラフ地震」による甚大な被害が想定されています。

私たちの生活や産業・経済・社会活動を支える道路は、豊かで活力ある地域を実現し、切迫する巨大地震や激甚化・頻発化する自然災害に備える上で不可欠な基盤です。特に、四国縦貫自動車道、四国横断自動車道、高知東部自動車道、阿南安芸自動車道の約810kmで構成され、四国4県を8の字で結ぶ「四国8の字ネットワーク」は、本州四国連絡高速道路と一体となり、全国の高規格道路ネットワークを形成することで、ポストコロナ時代も見据えながら、物流をはじめとする様々な経済活動や交流を促進し、四国の活性化に大きな効果をもたらすほか、災害発生時には、その直後から円滑に応援部隊が進出し、救援物資の輸送を図るなど、「命の道」としての役割が期待されるところであり、その早期整備は、四国の切なる願いであります。

しかしながら、その整備状況については、整備率が未だ75%にも満たず、また、四国の東南部や西南部にはミッシングリンクも残っており、その解消及び暫定2車線区間の早期4車線化が喫緊の課題となっています。

「平成30年7月豪雨」では、愛媛県南予地方において、一般道と比べ早期の復旧が進んだ松山自動車道が救援・救急活動を行う上で大きな役割を果たし、橋梁の上部工が流失した高知自動車道では、4車線整備済みの区間での被災であった事で早期の通行再開が可能となるなど、高速道路網の整備は、災害発生時に広域的な交通の途絶を回避する上で重要な役割を果たすことになります。

当会議といたしましては、大規模災害時に救援活動や緊急輸送を支える高速道路・国道などの幹線道路ネットワークの充実や老朽化対策などとともに、まだまだ遅れている四国の道路整備の促進に向けて、関係各位の皆様とともに今後とも全力で取り組んでまいりますので、ご理解とご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が皆様にとって素晴らしい年となりますことを心から祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

九州地区道路利用者会議会長

金子健次

福岡県柳川市長

令和4年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、平素から当会議の運営及び諸活動にご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

昨年も九州地区では、平成29年九州北部豪雨から五年連続となる記録的な豪雨に見舞われ、多数の尊い人命が失われ、また、公共土木施設等が甚大な被害を受けました。

ここにあらためまして、亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災されました方々の一日も早い復旧と復興を心よりお祈り申し上げます。

近年、異常気象により世界各地で頻発する自然災害や次々と発生する新型コロナウイルスの変異株がもたらす脅威等は世界の社会経済活動に深刻な影響を及ぼしています。

さらには、地球規模で対応が求められている脱炭素社会への構造転換など人類の生活のあり様を大きく変えていく行動が求められる非常に困難な時代でもあります。

このような厳しい環境の中にあって、災害大国である日本が抱えるリスクは増大するばかりであります。

今後30年以内に南海トラフ地震が発生する確率は80パーセントともいわれており、太平洋側エリアでの被害はまさに壊滅的なものになると想定されております。

とりわけ、わたくしどもの九州地域においては、建物全壊8万棟、道路損壊4千箇所ともされ、水道・電気などのライフラインの被害、道路・鉄道・港湾などの交通ネットワークの寸断など甚大な被害を受けるとされています。

道路は被災時の救援・救護活動やコロナ禍を含め災害物資の輸送を支える最も根幹的施設であり、被災地域の早期の復旧・復興そして「地方創生へのみち」でもあることを我々は幾度となく経験し、十分に確認しております。

高規格道路のミッシングリンクの解消及び暫定2車線の4車線化等は緊迫感を持って早期に実現する必要があります。併せてダブルネットワークによる代替性の確保はもとより施設の老朽化対策など事前の防災・減災対策を怠ることなく、今後も危機感を持って一層強力に推進し強靭な国土を築いていかなければなりません。昨年、大変厳しい財政事情の中で認められた「防災・減災、国土強靭化のための5か年加速化対策」については地方も危機感を持って事業を推進していく必要があります。道路の整備等により、日常生活や地域の産業活動を支え、企業、国内外の観光客などの誘致を促進し、交流機会の拡大、地域活性化といった社会資本整備の本来の役割を最大限に発揮させるため、なお一層の努力をしていかなければならないと思っております。

道路整備を取り巻く環境は大変厳しい状況ではありますが、山積する諸課題を解決し、将来に向けて国民に「安全・安心な道路」を提供するためには、道路予算の十分かつ安定的な確保が是非とも必要であり、全国道路利用者会議の会員の皆様とともに今後とも一所懸命、活動を行ってまいりたいと考えております。

最後に、本年が将来への展望の開く希望の年となることを祈念しまして新年のご挨拶といたします。

↙必要な道路整備に計画的かつ着実に取り組んでいかなければなりません。

創設するとともに令和4年度道路関係予算は、所要額を満額確保できるよう、全国各地の道路利用者会議や道路団体と共に、引き続き要望活動に取り組んで参りたいと考えております。

最後に、本年が皆様にとりまして素晴らしい年になりますことを心より祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

主張

高速道路のリニューアル効果

昨年はコロナ禍において高速道路の利用者も減少し、自身も県を跨ぐ移動を自粛していたが、年末は感染状況が少し落ち着いていたことから、11月から再開された休日割引も利用するなどし、高速道路でのドライブを楽しんでいた。

ここ数年、各高速道路は開通から50年以上を経過する道路もあり、経年劣化からの長寿命化を図るため、各地でリニューアル工事が随時行われており、高速道路のリニューアルに関するTVCMや、実際にSAやPAでパンフレット等を見た方も多くいるのではないだろうか。

一例として、阪神高速道路㈱は、大阪都市圏の最重要路線である1号環状線南行と12号守口線の一部区間を令和2年11月の17日間、1号環状線北行を令和3年11月の10日間で、それぞれ全面終日通行止めにし、リニューアル工事を行った。

この工事では、経年劣化により損傷が進展した床版の取り替え、コンクリート床版の高性能床版防水の実施、安全性・走行性の向上のための舗装の全面的打ち換え、橋梁のつなぎ目である伸縮継手（ジョイント）の取り替え、車両走行時の騒音・振動を大幅に低減するための橋梁の構造改良、ジャンクションの分合流付近の区画線改良による整流化や、方面案内のわかりやすさを重視した案内標識レイアウトへの改善、出口であることが直感的に理解できるような青色のカラー舗装などを行った。

このようなリニューアル工事は各高速道路で行われ、現在、NEXCO西日本では、阪和自動車道（和歌山北IC～和歌山南スマートIC）や今月からは中国自動車道（吹田JCT～中国池田IC）のほか、NEXCO東日本やNEXCO中日本でも同様に工事が行われており、首都高速道路では、日本橋区間の地下化により日本橋川周辺の景観や環境の改善を図る、まちづくりと一体となった事業が進められている。

こうした高速道路のリニューアル工事が行われることにより、我々利用者の安全性・走行性等が向上され、交通事故や渋滞が一層軽減されるとともに、各高速道路のネットワーク機能が維持されるだけでなく、沿道環境の改善や、強いては地域活性化などが期待される。

また、既に高速道路の一部区間で取り入れられている最高速度の引き上げ、渋滞緩和や防災・減災等のための4車線化、SAやPAへの水素ステーションの整備、今後益々進展する自動運転の普及拡大にも寄与することを併せて期待したい。

限度超過車両の新たな通行確認制度の試行を開始

国土交通省は、限度超過車両の新たな通行確認制度の令和4年4月1日（金）の運用開始に向けて、令和4年2月7日（月）より試行を開始する。

【1．概要】

改正後の道路法により、寸法、重量等に係る一定の限度を超える車両（限度超過車両）を通行させようとする者が、あらかじめ国の登録を受けた車両について、従来の許可申請手続に代えて、通行が可能な経路をオンラインで即時に確認し、通行できる制度が新たに創設され、令和4年4月1日（金）に施行される。

円滑な運用開始に向けて、実際の運用が始まる前に、どのような仕様となっているか、使い勝手を試すために試行を開始する。

なお、詳細については改めて発表するとしている。

【2．試行開始日】

令和4年2月7日（月）

高速道路の主な工事に伴う通行止め・規制情報

【工事通行止め】

◇**東名高速道路**　遠州豊田スマートIC
1月31日（月）10:00～2月25日（金）16:00

◇**東名高速道路**　遠州豊田PA（下り）
2月7日（月）16:00～翌6:00

◇**阪神高速3号神戸線（東行）**　尼崎西出口
1月16日(日)・23日(日)・30日(日)　各日20:00～翌5:00
2月6日(日)・13日(日)　各日5:00～24:00

【リニューアル工事】

◇**伊勢湾岸自動車道**　四日市JCT～湾岸長島IC（上り線）
2月19日（土）6:00～3月21日（月）24:00